

2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330322059A	保育内容（環境）2025～	福江 厚啓			1	必修	2後期

科目の概要

DP①、③に記載している現代のこどもの生活問題に対する認識と現実の保育および教育現場での課題に対する見識を深め、専門的な知識と技能を身に付けます。現代の子育て問題や教育再生、地域再生について理解し、自立した社会人として常に自己研鑽に取り組むとともに、自らの可能性を高めて社会に貢献しようとする姿勢を持つ保育者の育成を目指します。(DP⑤) また、こどもの生活学科のDP「人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材育成」を受け、国立幼稚園で幼稚園教諭として9年勤めた経験を活かし、保育内容「環境」に関する保育のねらい及び内容の理解、具体的な場面指導や子ども理解に関する講義・演習を行います。保育所保育指針等に示されている領域「環境」のねらい及び内容の発達別理解及び保育者の援助について理解を深めます。また保育の環境構成の視点から、子どもの生活の質向上、安全に貢献する知識を修得し、身につけた専門知識を活かして主体的に保育、子どもを取り巻く「環境」について考察し、専門性を身に付けます。

学修内容	到達目標
① 「環境」という言葉をキーワードに保育者として必要な基礎知識、実践方法を様々な視点から理解する。 ② 「体験」「調べる」「考える」ことを通して、素材や遊びについて知る。	① 保育をより豊かなものにするための環境の構成や、様々な環境を活かした保育の実践方法を理解することができる。 ② 素材や遊びを教材化し、具体的に「指導計画」を作成することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	領域「環境」とはどのような「ねらい」及び「内容」があるのか、教科書を使って自己学修をすることができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題に対し積極的な自主学修をし、計画的に完成させることができる。
考え抜く力	課題発見力	模擬保育等の発表を通して省察し、自己課題を見出していく謙虚な姿勢を持つことができる。
	計画力	
	創造力	乳幼児が楽しめる環境構成、遊びを考案、実践することができる。
チームで働く力	発信力	他者が理解しやすいように、自分の意見を整理しながら述べるすることができる。
	傾聴力	他者の意見を受け止め、自分の意見との共通点、相違点を肯定的に受け止めることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席することなく授業に臨むことができる。課題等の期限を守って提出することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：「子どもと環境」中央法規（編著）神長美津子他
参考文献：「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針解説」「幼保連携型認定こども園教育・保育指針解説」

他科目との関連、資格との関連

保育内容「環境」（330322059）は、学科専門科目の幼・保領域「保育の内容・方法に関する科目」に位置付けられ、子どもと環境、保育内容総論の基礎となる科目である。
また保育内容「環境」は、保育士資格、幼稚園教諭一種免許状に必要な科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
自分や子どもの周りにあるもの、身近な生活に常に興味、関心をもつこと。 まず子どもの立場に立ち、環境の意味や価値を考えるようにすること。	<ul style="list-style-type: none"> 調べ学習、発表、グループワーク等、アクティブラーニング（AL）形式での授業に意欲を持って参加すること。 保育者・教育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に臨むこと。 課題等は期限を守って提出すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 領域「環境」のねらいと内容を理解している。 子どもの生活をより豊かにする環境について説明できる。 子どもの生活をより豊かにする環境についての事例を読み取れる。 保育の環境としての教材の特徴について説明できる。 教材を活用した保育の指導計画を作成することができる。
				②	✓	
	平常評価	小テスト	0	①		<ul style="list-style-type: none"> pisa型学力の評価方法について 知識の獲得（子どもに必要な環境の概要の理解・用語の理解）：30% 知識の活用（子どもの生活の環境を構成する知識と試み）：40% 知識の解決（子どもの生活環境の問題点を用いた事例と具体的な提案）：30%
				②		
平常評価	レポート	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ①模擬保育の指導計画（5点） ・保育のねらい、内容、環境構成、予想される子どもの姿、保育者の援助を理解しているか。 ②模擬保育のレポート（5点） ・模擬保育の計画と実践を通しての学びや気づきをもとに省察し、他グループの発表から学んだことを取り入れながら課題解決に向けて考えられているか。 ・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得（子どもに必要な環境の概要の理解・用語の理解）：30% 知識の活用（子どもの生活の環境を構成する知識と試み）：40% 知識の解決（子どもの生活環境の問題点を用いた事例と具体的な提案）：30% 	
			②	✓		
平常評価	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ①名札の製作（10点） ・実習で使用するために相応しいデザインであるか。丁寧に作られているか。 ②壁面製作（5点） ・保育の室内環境を理解して取り組んでいるか。グループで協力して行っているか。 ③模擬保育の実践（15点※準備10点 発表5点） ・領域「環境」に関する模擬保育の準備、グループ発表を通して、保育のねらい、内容、保育者の援助を理解して実践することができたか。 ・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得（子どもに必要な環境の概要の理解・用語の理解）：30% 知識の活用（子どもの生活の環境を構成する知識と試み）：40% 知識の解決（子どもの生活環境の問題点を用いた事例と具体的な提案）：30% 	
			②	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<p><PCRシート></p> <ul style="list-style-type: none"> （主体性）「環境」とはどのような「ねらい」や「内容」があるのか、教科書を使って自己学修することができること。 （実行力）課題に対し積極的に自主学修をし、計画的に完成させることができること。 （課題発見力）模擬保育等の発表を通して、省察し自己課題を見出し、謙虚な姿勢を持つことができること。 （創造力）乳幼児が楽しめる環境構成、遊びを考案、実践することができること。 （発信力）授業中に他者が理解しやすいように、自分の意見を整理しながら述べるることができること。 （傾聴力）他者の意見を受け止め、自分の意見との共通点、相違点を肯定的に受け止めることができること。 （規律性）無断欠席することなく授業に臨むことができる。課題等の期限を守って提出することができること。 <ul style="list-style-type: none"> ・pisa型学力の評価方法について 知識の獲得（子どもに必要な環境の概要の理解・用語の理解）：30% 知識の活用（子どもの生活の環境を構成する知識と試み）：40% 知識の解決（子どもの生活環境の問題点を用いた事例と具体的な提案）：30% 	
			②	✓		
総合評価割合			100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>(S)</p> <p>①子どもの主体性を尊重した保育を理解し、子どもの育ち支える環境の構成や、様々な環境を活かした保育を実践して振り返り、自己課題を明確にする。</p> <p>②素材や遊びを研究して教材化し、作成した指導計画のねらいと内容に即した模擬保育を実施することができる。</p> <p>(A)</p> <p>①子どもの主体性を尊重した保育を理解し、子どもの育ち支える環境の構成や、様々な環境を活かした保育の実践方法を理解して実践することができる。</p> <p>②素材や遊びを研究して教材化し、ねらいと内容を理解した「指導計画」を作成して模擬保育を実施することができる。</p>	<p>(B)</p> <p>①保育をより豊かなものにするための環境の構成や、様々な環境を活かした保育の実践方法を理解して実践することができる。</p> <p>②素材や遊びを研究して教材化し、ねらいと内容を理解した「指導計画」を作成することができる。</p> <p>(C)</p> <p>①保育をより豊かなものにするための環境の構成や、様々な環境を活かした保育の実践方法を理解して説明することができる。</p> <p>②素材や遊びを研究して教材化し、具体的に「指導計画」を作成することができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	「オリエンテーション」序章と第1章 ・授業方法の説明 ・領域「環境」の概要 ・名札の製作について	講義 グループワーク (AL) google classroomによる質問の受付	・授業方法について理解することができる。 ・領域「環境」の概要について理解することができる。 ・名札の製作について、作成手順を理解できる。	予習：教科書序章「子どもとともに『心揺れ動く体験』を創り出すために」第1章「循環型社会と子ども」を読んで概要を理解する。 復習：領域「環境」の概要について要点をまとめる。 名札のデザインを考えて材料を準備する。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 規律性
2	「しなやかな心と体を育む乳幼児期の体験」第2章・第3章 ・乳幼児期に多様な体験を行う意義 ・乳幼児期の体験の現状と課題、豊かな関わりを支える園の役割 ・名札の製作	講義 演習 グループワーク (AL)	・乳幼児期に多様な体験を行う意義について、発達の特徴を踏まえて理解することができる。 ・乳幼児期の体験の現状と課題、その中で豊かな関わりを支える園の役割について理解することができる。 ・持ち寄った材料を使用して名札を製作できる。	予習：教科書第2章「しなやかな心と体を育む乳幼児期の体験」第3章「乳幼児期・児童期の思考や科学的概念の発達の特徴」を読んで概要を理解する。 復習：現状の課題や発達を踏まえた園内の環境について、施設の概要をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「生き物・自然環境とふれるなかで」第9章・第10章 ・場所・空間の環境構成について ・遊具の環境構成について ・自然物等の環境構成について	講義 演習 グループワーク (AL)	・場所・空間の環境構成について理解することができる。 ・遊具の環境構成について理解することができる。 ・自然物等の環境構成について理解することができる。	予習：教科書第9章「生き物とともに生活するなかで感じる生命の不思議」第10章「自然体験活動を通して育つ感性」を読んで概要を理解する。 復習：生き物・自然環境の留意点について要点をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「人・物・情報とふれるなかで」4章・8章・11章 ・子どもを取り巻く人的・物的環境や様々な情報について考える。 ・保育における文字・数・図形等に関する活動について	講義 演習 グループワーク (AL)	・子どもを取り巻く人的・物的環境や様々な情報について理解することができる。 ・文字・数・図形等への子どもの興味関心と保育環境との関連を理解できる。	予習：教科書第4章「遊びの環境と『遊びの達人』としての保育者の専門性」第8章「物とかかわるなかで育つ探求心」第11章「さまざまな情報にふれるなかで出会う生活の豊かさ」を読んで概要を理解する。 復習：子どもを取り巻く人・物・情報の環境から考えられる課題について要点をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「保育室の環境デザイン：壁面製作①」 ・様々な文化を取り入れた室内環境の実際について	演習 グループワーク (AL)	・様々な文化を取り入れた保育環境の構成について理解することができる。	予習：保育の壁面製作について情報収集をする。 復習：壁面装飾の意義と、壁面製作の手順をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
6	「保育室の環境デザイン：壁面製作②」 ・壁面の製作 ・壁面装飾の種類や用途について	演習 グループワーク (AL)	・壁面装飾の種類や、装飾する場所の工夫について理解する。	予習：壁面製作に必要な道具や材料を準備する。 復習：型紙の取り方や、教材の取り扱いの留意点について	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
7	「保育室の環境デザイン：壁面製作③」 ・壁面の掲示 ・環境としての壁面装飾と子どもの学びについて	演習 グループワーク (AL)	・壁面製作を完成させて、掲示することができる。 ・環境としての壁面装飾が子どもの生活においてどのような学びになるか理解できる。	予習：壁面装飾を完成させるためのパーツを作成しておく。 復習：室内環境デザインの配慮・留意点についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 発信力 規律性
8	「小学校との連携と保育内容「環境」」第5章 ・幼保連携と保育の環境、保育者の関わりについて	演習 グループワーク (AL)	・幼保連携と保育の環境、保育者の関わりについて理解することができる。	予習：教科書5章「幼児教育と小学校教育の『学びのつながり』」を読んで概要を理解する。 復習：小学校との連携と保育環境の留意点について要点をまとめる。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	「ICT、SDGsと保育内容「環境」」第6章・第7章 ・ICT、SDGsから考える「環境」 ・ICT、SDGsに関する保育の「環境」事例検討について	演習 グループワーク (AL)	・保育におけるICTの活用やSDGsについて環境面から理解することができる。 ・ICTを活用した保育や保育の中のSDGsに関する「環境」事例検討について理解することができる。	予習：教科書第6章「保育のなかでのICT活用」7章「保育のなかで学ぶSDGs」を読んで概要を理解する。 復習：保育におけるICT活用やSDGsの社会的ニーズについて要点をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「子どもの育ちを支える保育の環境構成①」 ・発表方法について ・発表テーマ(わらべうた・自然環境・文字、数字、図形・身近な植物を取り入れた保育)を決める。	演習 グループワーク (AL)	・発表方法について理解することができる。 ・自分の発表テーマ(わらべうた・自然環境・文字、数字、図形・身近な植物を取り入れた保育)を決めることができる。	予習：子どもの育ちを支える保育環境について調べる。 復習：自分の発表テーマ(わらべうた・自然環境・文字、数字、図形・身近な植物を取り入れた保育)の概要をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「子どもの育ちを支える保育の環境構成②」 ・発表テーマ(わらべうた・自然環境・文字、数字、図形・身近な植物を取り入れた保育)の発表準備をする。 ・必要な資料を収集し、わかりやすくまとめる。	演習 グループワーク (AL)	・発表テーマ(わらべうた・自然環境・文字、数字、図形・身近な植物を取り入れた保育)の発表準備をすることができる。 ・必要な資料を収集し、わかりやすくまとめることができる。	予習：発表テーマ(わらべうた・自然環境・文字、数字、図形・身近な植物を取り入れた保育)に関する資料を調べる。 復習：発表準備(わらべうた・自然環境・文字、数字、図形・身近な植物を取り入れた保育)をする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「子どもの育ちを支える保育の環境構成③」 ・模擬保育の実践(1) わらべうた・自然環境・文字、数字、図形・身近な植物を取り入れた模擬保育をする。	演習 グループ発表 グループワーク (AL)	わらべうた・自然環境・文字、数字、図形・身近な植物を取り入れた模擬保育をすることができる。	予習：発表準備、練習。 復習：発表についての講評やコメントをもとに保育実践の留意点についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「子どもの育ちを支える保育の環境構成④」 ・模擬保育の実践(2) わらべうた・自然環境・文字、数字、図形・身近な植物を取り入れた模擬保育をする。	演習 グループ発表 グループワーク (AL)	わらべうた・自然環境・文字、数字、図形・身近な植物を取り入れた模擬保育をすることができる。	予習：発表準備、練習。 復習：発表についての講評やコメントをもとに保育実践の留意点についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「子どもの育ちを支える保育の環境構成⑤」 ・模擬保育の実践(3) わらべうた・自然環境・文字、数字、図形・身近な植物を取り入れた模擬保育をする。 模擬保育の振り返り	演習 グループ発表 グループワーク (AL)	わらべうた・自然環境・文字、数字、図形・身近な植物を取り入れた模擬保育をすることができる。③ 模擬保育の振り返りから、自身の課題を明確にできる。	予習：発表準備、練習。 復習：発表についての講評やコメントをもとに保育実践の留意点についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「まとめ」 ・身近な環境を活かした魅力ある保育について	演習 グループワーク (AL) google classroomによる課題の提出	・身近な環境を活かした魅力ある保育について理解することができる。	予習：領域「環境」のねらいを読んで復習する。 復習：身近な環境を活かした魅力ある保育について要点をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力